

# 議会 だより

6月定例会	2
一般会計6月補正予算	3
常任委員会の動き	4~5
一般質問	6~7
原子力発電所特別委員会	8
全員協議会	9
その他活動報告・臨時会	10
組合議会報告・知っ得議会	11
小学校体育大会・追悼・編集後記	12

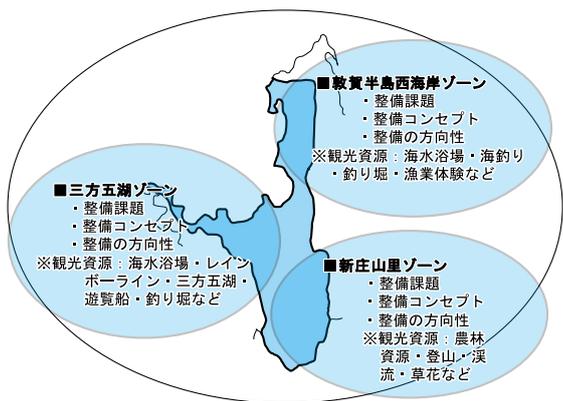
# 6月定例会（6月8日～21日）

6月定例会は、8日から21日までの14日間の日程で開催されました。

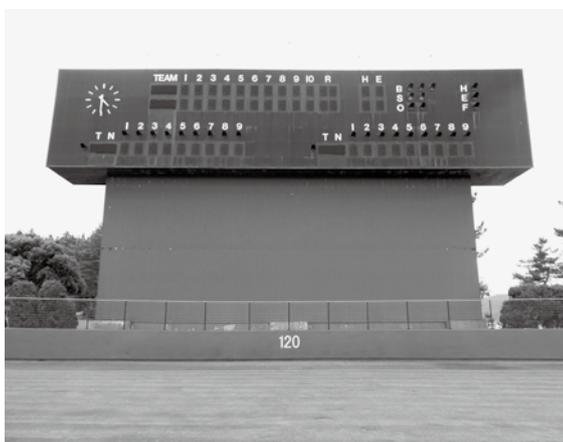
一般会計及び特別会計補正予算の議案が7件、条例案2件、請願2件について各常任委員会において審議しました。また、最終日に山上住宅団地整備工事のほか4件の契約案件が上程されるとともに、議員発議で北陸新幹線の敦賀以西の整備について決議しました。



大規模園芸ハウス整備補助（イメージ）



観光振興計画



野球場バックスクリーンLED化



エネルギー環境教育体験施設  
昔体験農家（イメージ）

一般会計の補正予算額は、10億6277万円増額し、総額91億6251万円となりました。農林水産業費では、興道寺地係における自然光利用型大規模園芸ハウスの整備に1億8667万円補助します。また、有害鳥獣防止柵を竹波区と雲谷区に設置する費用として1459万円。新規事業として、各地区で倒木のおそれのある木の伐採に1件10万円を5件分補助します。

商工費では、産業団地第2期整備事業約1億1429万円。また、観光振興計画にのっとり、昨年度から実施している新庄地区を中心とした山里ゾーン

につづいて、本年三方五湖ゾーンの詳細計画の業務委託料として500万円。土木費は、町道日向線、久々子・金山線の拡幅工事、久々子住宅団地C・D棟の屋根及び外壁の改修工事として7611万円。教育費では、総合運動公園のバックスクリーンをLEDに改修する費用として、5340万円を補正しました。

そのほか、竹波原子力防災センターの条例案、エネルギー環境教育体験施設の建設工事と展示施設の工事2件及び山上住宅団地の整備工事の契約3件、全5件の契約を承認しました。

## 平成 28 年度 一般会計 6 月補正予算概要

# 28 年度 一般会計補正予算(6月) 10 億 6,277 万円を可決 補正後予算総額 91 億 6,251 万円

◎ 歳出予算の内訳 (主要事項)

(単位:万円)

款	主 要 事 項	金 額	事 業 概 要 等
総 務 費	環境基本計画改定事業	499	環境基本計画改定業務委託料、改定委員会委員謝礼ほか
	二酸化炭素排出抑制対策事業	324	CO <sub>2</sub> 削減ポテンシャル診断業務委託料(設備の導入・運用状況、エネルギー消費状況の確認)
衛 生 費	みはママサポート事業	80	産後医療相談及びその受診時のタクシー利用への助成
農 産 林 業 水 費	水田農業大規模化・園芸導入事業	1,459	認定農業者等に対する大型機械整備補助金(2件)
	有害鳥獣対策事業	2,265	有害獣侵入防止柵設置工事費、測量設計業務委託料(竹波区、太田区)ほか
	ブランド開拓事業	231	ブランド米パッケージデザイン作成事業費補助ほか
	大規模園芸ハウス整備事業	18,667	自然光利用型連棟ハウス整備、園芸機械購入に対する補助金
	倒木危険回避事業	50	倒木のおそれがある木の伐採、切り分けに対する補助金
	中山間地域総合整備事業(一般型)	1,950	県営中山間地域総合整備事業の事業負担金(用排水路、防火水槽工事等)
	基幹水利施設ストックマネジメント事業	2,057	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業の事業負担金(バイブライン整備工事)
商 工 費	レークセンター管理事業	102	ウッドデッキ改修工事費ほか
	産業団地整備事業	11,429	産業団地事業特別会計への繰出金(地質調査業務委託料、造成工事費ほか)
	三方五湖ゾーン整備事業	500	三方五湖ゾーン整備計画業務委託料
土 木 費	町道日向線道路改良事業	5,297	道路改良工事費、道路用地購入費、移転補償費
	町道久々子・金山線道路改良事業	5,164	道路改良工事費、道路用地購入費
	県単急傾斜地崩壊対策事業	3,600	日向(浜地区)急傾斜地崩壊対策工事費
	町営住宅改修事業	7,611	久々子住宅C・D棟 屋根、外壁改修工事費
消 防 費	防災拠点施設整備事業	2,965	太陽光発電設備・蓄電池設備工事費、工事監理業務委託料(庁舎に設置)
	原子力防災における住民避難対策事業	4,354	防災用資機材購入費、防災資機材用倉庫購入費
教 育 費	みはまナビフェス事業	150	みはまナビフェス実行委員会(文化部門)への補助金(平成28年11月開催予定)
	町民レガッタ事業	164	第29回美浜町民レガッタの開催(平成28年10月開催予定)
	総合運動公園改修事業	5,340	野球場改修工事費(バックスクリーンLED化)

# 常任委員会の動き

6月13日 予算決算常任委員会 一般会計補正予算案ほか特別会計補正予算案6件  
 6月14日 総務文教常任委員会 条例案2件、請願2件  
 6月15日 産業厚生常任委員会 審議案件はありませんでした

予算決算  
常任委員会

付託案件7件

●平成28年度 美浜町一般会計補正  
予算(第1号)について

【総務費】

**問** マイナンバー導入整備事業でのカード化率はどうか。

**答** マイナンバーカードの申請は、約700件あり、人口の約7%にあたる。現在、取りに来られていないカードについては保管している。利用については、免許証に代わる身分証明としての利用



レークセンターウッドデッキ

者が多い。

**問** 新規の二酸化炭素排出抑制対策事業で、CO2の数値はどれくらいなのか。また数値は下がるのか。

**答** この事業は、事業所からのCO2排出量等を調査診断するものである。

町では、CO2の数値について把握が出来ていないため、これから調査診断を実施し、具体的な削減にむけた提言を受けることになるので、当然数値は下がると考えている。

**問** 福井国体推進事業は、すべて一般財源だが継続的に推進していくのに県や国の補助はないのか。

**答** この事業については、県の補助は来年度からであり、今後の運営費、設備改修工事費は補助を受ける予定である。今回、計上した事業費は町で負担することになる。

【農林水産業費】

**問** 倒木危険回避事業の内容は。

**答** 集落で管理をしている場所、倒木の危険があり、人や建物に被害が生じる恐れがある場合に伐採費用の一部を補助するという新規事業である。

**問** 園芸導入事業と大規模園芸ハウスの整備事業で、使用する水の利用計画はどのようになっていくのか。



福井国体マスコットはぴりゅうとへしこちゃん

**答** 園芸拡大の取組みは、農業基本計画アクションプランの中心となるものである。水の確保については井戸により対応する予定である。

**問** ブランド開拓事業はどのようなものを考えているのか。

**答** 町の農業の主要作物である、米のブランド化を考えている。しかし、ブランドの名前をつけたから売れるというわけではないと考えている。

【商工費】

**問** レークセンターがひどく傷んでおり修理していくべきではないか。

**答** 今回は、安全性を考え、部分的な修繕を予算計上している。この施設も老朽化が進んでおり、町としても施設をどこまで維持出来るかが今後の課題と考えている。

【消防費】

**問** 防災拠点施設整備事業の中で、非常電源を役場地下に設置するというのだが、災害を考慮したら場所を変えるべきではないか。

**答** 分散化は大切だがスペースや配電の経路等、総合的に考えた結果、蓄電池については地下1階に設置することで進めている。

●平成28年度 美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

●平成28年度 美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

●平成28年度 美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

●平成28年度 美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

●平成28年度 美浜町産業団地事業特別会計補正予算(第1号)

●平成28年度 美浜町住宅団地事業特別会計補正予算(第1号)

以上の審査を終了し、7議案を承認しました。(川畑記)

総務文教  
常任委員会

付託案件2件

●美浜町竹波原子力防災センターの設置及び管理に関する条例の制定について

**問** 原子力災害の場合、要配慮者や住民等がその場に止まらざるを得ない状況になったときのマニュアルはあるのか。また、防災センターと本部とのやり取りや、警察や消防との連携はどうなるのか。

**答** 詳細計画はまだできていない。原子力災害の場合は毛ノ鼻の防災センターで、基本的なことを決め、警察、消防も本部からの指揮命令で災害対策にあたることになる。

●美浜町多目的屋内運動場整備基金条例を廃止する条例の制定について

**問** 施設の利用状況はどうか。

**答** 現在、多目的屋内運動場の利用者は3千人で、屋外の競技場は750人ぐらい利用している。以上の審査を終え、2議案を承認しました。

なお、「非核平和都市宣言」と「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願書の2件については、不採択になりました。(野瀬記)

産業厚生  
常任委員会

付託案件0件

6月定例議会の産業厚生常任委員会に付託された議案はありませんでした。従って、今回は所管事務の勉強会を実施しました。

地元の有効求人率は十分高いが…

100%就職は困難

「地域の雇用失業情勢等について」と題してハローワーク敦賀の宮川所長にお話しをお聞きしました。

4月の管内(敦賀・美浜・旧三方)の有効求人倍率は1.55(県は1.1)

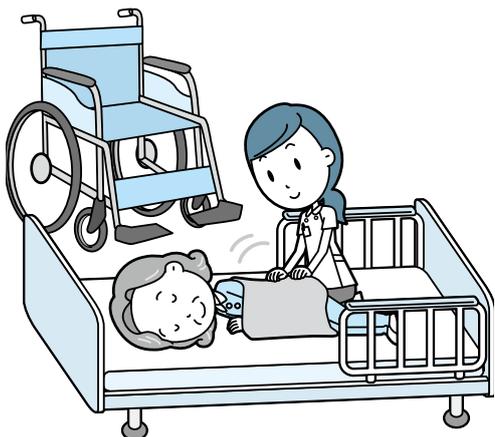
卒業年度	卒業数	就職希望者	就職数	敦賀市	美浜町	若狹町	県内	県外
27	816	222	221	80	5	18	44	74
26	790	237	237	98	4	23	50	62
25	730	200	200	67	10	23	30	70

二州管内高校の就職者の就職先一覧  
(敦賀公共職業安定所より)

86)であるが、求人と求職のマッチングの難しさで100%の就職が困難なこと。そして美浜中学校の卒業生数をベースに高校、大学を卒業後の町内での就職率が5〜10%と低いこと。その理由は地元企業の少なさであることなどが分かりました。企業を誘致しても100%地元での就職は難しそうです。

地域医療の包括的医療設備を計画

「地域包括ケアシステム」について勉強しました。今後は自宅での生活支援、介護予防が必要となり、いつまでも元氣な暮らし方が出来るような心がけが大切になります。町では今後「地域包括支援センター」をつくり、地域医療の包括的医療設備を整備していく計画です。(浜野記)



3月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。



竹中 良廣 議員

## レイクヒルズ美方病院の今後の方針は

国の医療改訂が行われるが、療養病床は残す努力をする

**問** レイクヒルズ美方病院の経営状況はどうか。

**健康づくり課長** 開設から5年間は国、県からの補助金合計で約11億6500万円を頂き、若狭、美浜両町で毎年、約1億6000万円の繰入をしてきたが、ここ数年はさらに5000万円から9500万円の補填が必要となっている。小浜病院組合との連携をやめるなど今後の運営方法を考える時期に来ていると思うが。

**町長** 今後も4市町で運営していくことで一致しており、平成28年度には新たな改革プランを立て、健全で安定した病院運営や組織のあり方について模索していく。

**問** 国はレイクヒルズ病院のような療養型病床を平成29年度で廃止する方向で進めている。これを踏まえ、病院の今後をどのように考えるか。

**町長** 今後は病院の中に住居と医療の機能を内包した一体型が病院の近くに居住スペースを併設した併設型の施設が求められてくる。どちらかの方法で療養病床は残す努力をしなければならぬ。ホスピス（終末期緩和ケア）の患者を受け入れてはどうか。

**町長** ホスピス患者を受け入れるには医師や看護師等の条件が厳しく現時

点では難しい。  
※ホスピスとは：病気を治すことが難しくなった患者に対し終末ケアを行う施設で、延命のための抗がん剤治療とか、栄養剤補給の胃ろうとか静脈点滴などはやめて、直面する激しい痛み、息苦しさなど、肉体的な痛みや緩和、精神的な不安を和らげ、最期のときを痛がらず、穏やかに迎えられるようサポートする。

## 地方創生総合戦略に基づく

### 予算獲得の方策は

2つのプロジェクト構想で申請を行う道の駅は基本構想を定め事業を推進

**問** 地方創生を進めるための交付金申請において、美浜町の事業内容が不採択となった。2次募集があるのだが、その事業内容はどうなるものか、また、今回不採択となった道の駅整備構想は今後、やめるのか。

**企画政策課長** ①ウエルカム美浜人プロジェクト ②美し美浜「インバウンド」雇用創出プロジェクトの事業内容で再度応募する。また、道の駅整備構想については不採択となった内容の修正を行い、今年度中に基本構想を定め事業推進に務める。

**問** 地方創生事業を実現する上で、民間企業からの積極的な支援を求めると納税制度を導入した。この制度を活用し、美浜町の取り組みを企業にアピールしてはどうか。

**町長** 町の目指すべき将来像をしっかりと見据えた事業をつくり上げる必要があり、その内容に企業が賛同いただき寄付を受けられるよう努力する。

※企業版ふるさと納税とは：企業が町の事業に対し寄付をしていただくこと。現行では寄付額の30%の税額控除であったが、今回から60%の税額控除がなされる。



浜野 健治 議員

## 観光の資源として海を活用したイベント、施設の検討を促す

**問** 観光は「見る、買う、食べる」にプラスして「体験する」が付加されている。近年北陸新幹線の延伸、中部縦貫自動車道の開通、敦賀半島周遊可能道路等交通アクセスがよくなるが、海のアドベンチャーランドのような体験できる施設を作ったらどうか。

**町長** 半島ゾーンの観光のためには海という資源を活かすことが大切と考えている。具体的にどうしていくかが大切と考える。

**商観課長** 交通アクセスの整備と観光の発展は密接に関連しているところから、現在も継続的に観光プロモーションを展開し、関西、中京、山陽地方で活動を実施している。海のアドベンチャーランドという提案も、半島西海岸ゾーンの会議の中で検討していきたい。

## イベントを複数日実施し、宿泊を増やす策を提案

**問** 美浜・五木マラソンに約4千人の参加があるが、午後3時には人影がない。複数日数のイベントとして宿泊、周辺施設の活性化を図れる計画にしてはどうか。又、実施日を固定化すべきでないか。

**町長** 町の観光も今までと変えています。まず「体験」として例えばポート等に体験を取り入れています。エネルギー環境体験館も同じです。もう一つは「学び」

です。エネルギー環境体験館での学び、なびあすでのピアノの学びです。日は母の日に固定するなど難しい点はあるが検討します。美浜・五木マラソンの名称は継続したいと考えております。

## 東部に児童公園の設置を提案

**問** 町の東部地域に人の集まる施設が少ない。東地区に児童公園等の家族が手放して子供を遊ばせ、憩うことの出来る児童公園の設置を考えてはどうか。

**町長** 三方五湖ゾーンの拡充も必要で、新庄山里ゾーンも整備に取り掛かっています。半島ゾーンも大切でありご提案を検討したいと考えています。

**商観課長** 半島振興のため、人の集まる施設という点ですが、管理体制も含めて検討を進めていきたい。

## 再生可能エネルギーの活用で活性化を推進したら

**問** 第5次総合振興計画にエネルギー施策があるが施策の内容が明確でない。分散型エネルギーを活用したモデルゾーンづくりを始めるべきで内容はバイオマス給湯設備、補完設備として太陽光給湯設備を併用したハイブリッドシステムである。

**町長** 学習するレベルとして適地に施設を作ることも考えられるが、実用としてはコスト的に合わないのではないかと考えています。

**政策課長** 再生可能な熱エネルギー源を、有効かつ効率的に使用していく考えは将来的に必要と考えている。町の将来エネルギービジョンを策定しておりその中に再生可能エネルギー等により国の「エネルギー構造転換理解促進事業」の補助金制度に乗って検討したいと思っております。

質問、返答については質問者の  
文責で掲載しています。



河本 猛 議員

### 連続地震と原発事故、 その対応や対策について

**問** 4月に震度7を観測し、その後連続して強い揺れを伴う地震が発生した熊本県の連続地震。この連続地震は、活断層型の内陸地震であり、周囲を活断層に囲まれた敦賀半島でも起こる可能性が高い地震である。活断層型の地震による原子力複合災害は、住民の健康、生命、財産、人間がこの美浜町で根をおろし生活するという権利、生存権、人格権を破壊する。それは美浜町民だけでなく、周辺自治体に住む広範囲の住民にとっても同じであり、原発の存在は身近に存在する危険であり、脅威であり、リスクである。

**町長** 町としてそういう技術的な集団も持っていないので、お答えできない。  
日本において地震の観測が開始されてから130年余りしかたっており、観測データも不足して

**問** 日本において地震の観測が開始されてから130年余りしかたっており、観測データも不足して

る。日本は、世界の面積の1%にもならない国であるのに、世界で起きている約10%の地震が日本で発生しており、美浜町で連続地震が発生しないとはいえない。  
熊本県では、耐震補強したばかりの施設が損傷し、避難場所として使用できなくなった。住民からは、国の耐震基準は役に立たないなどの声が出ている。  
連続地震が原発を襲った場合、現在の新規制基準や基準地震動に基づいた耐震補強工事だけで、原発は安全だといえるのか。町長の考えを伺う。

**町長** 原子力規制委員会は、「新規制基準は世界最高レベルの基準である」としており、新たな知見等については、今後、反映していくということでは、検討がなされるものと理解している。

**意見** 原子力規制委員会の田中委員長は、「新規制基準を満たしたからといって原発は安全とはいえない」、「安倍総理が言う世界一の安全基準」というこの言葉は、政治的な発言だ」と言っている。

新規制基準に合格して運転延長の認可が出たとしても、原発の安全は確立されていない。  
★その他、被ばく、避難計画、免震重要棟について質問し、道の駅については、農林水産、商工業、観光、環境整備の面で、住民の活動が見える必要性と構想について質問しました。



辻井 雅之 議員

### 「みはまブランド開拓課」の 取組みは

**問** 今年度から、「みはまブランド開拓課」を新設したが、その取組みはどのようなものか。

**町長** 今年度からの第5次総合振興計画や地方創生を進める上に行革を念頭に機構改革を行った。他にも新しい部署を設け、また課名も変えて刷新を図った。

**ブランド開拓課長** 自らの主体性と自主性で、美浜の地域価値を高めていく。具体的には美浜の主要作物である米を、水・土のデータ分析から始め、ブランド化を進めたい。従来からの保存食の「へしこ」や「塩ブリ」等の熟成食品も都会に広めてブランド化に繋げたい。

**問** 美浜の特産品として、従来から「へしこ」があり、昨年末に「へしこ組合」を設立して、「美浜のへしこ」のブランド化に向け一歩を踏み出したが、その成果と活動状況は。

**町長** 10年前に5・6社で組合結成の話もあったが出来ずに、今回は行政も関与し「へしこ組合」が結成され、現在13の生産者で組織し取組んでいる。へしこの生産者は、大手と小規模生産者があり格差はある。「へしこの町」の商標登録、平成17年度

**ブランド開拓課長** 自らの主体性と自主性で、美浜の地域価値を高めていく。具体的には美浜の主要作物である米を、水・土のデータ分析から始め、ブランド化を進めたい。従来からの保存食の「へしこ」や「塩ブリ」等の熟成食品も都会に広めてブランド化に繋げたい。

から「へしこで町おこし」を取り組み、現在は鯖の仕入れや県外への新たな出向宣伝また、ブランディング推進事業を展開している。

### 美浜東「美し野」ニュータウンの 分譲状況は

**問** これも新設課「美浜創生戦略課」の所管で、美浜東「美し野」ニュータウンの第1期分譲(19区画)が開始されたが、現時点の分譲に対する問い合わせや契約状況は。

**美浜創生戦略課長** 新聞の折込チラシや現地説明会も行い分譲を開始した。5月末で地元3件、町外4件の契約があった。

### 2年後に迫った国体の ボート競技について

**問** 48年前に第23回国体が開催され、美浜町ではボート競技の会場となりそれ以来、美浜町は「ボートの町」として知名度を上げて来た。当時の開会式は、小学校の鼓笛隊も参加して盛大に行われたが、今回はどのような企画になるのか。また選手の宿泊や県外からのお客様のおもてなしをどの様にするのか。

**美浜創生戦略課長** ここ2回の国体のボート競技の開会式は、代表者のみで会議形式がとられて48年前のような盛大な開会式は行われていない。今回もそれに準じると思われる。選手の宿泊は、宿泊本部が組織され、それに従うことになる。花いっぱい運動やおもてなしについても自主的協力者を求める。町全体で盛り上がるよう実行委員会で検討していく。

## 原子力発電所特別委員会

6月10日原子力発電所特別委員会を開催しました。

### 美浜発電所1・2号機の今後3年間の廃止措置工事について

廃止措置工事の開始時期を28年度下期と仮定した場合、当面の廃止措置工事の作業工程、作業範囲及び除染について説明を受けました。

質疑応答の中で地元企業は、発電所での工事実績もあり、ある程度の発注・雇用が見込めるものと考えるが、工事開始後、実績を見ながら、将来の活用につなげることを検討していきたい。また廃炉工事については地元企業も含めて説明させていただきたい。などの説明がありました。

### 美浜発電所3号機の原子炉設置変更許可申請補正書について

基準地震動について断層上端深さが4Kmから3Kmに変更、基準地震動が750ガルから993ガルに変更、また使用済燃料ピットラックについて993ガルに耐えるフリースタンディングラック(可動式)を採用するなどの説明を受けました。

### 国への要望

国に対し7月20日、21日にかけて、正副議長、正副原特委員長及び理事者と交付金制度等の立地地域対策について、原子力防災対策について等の要望活動を行いました。(崎元記)

## 原子力発電所特別委員会視察研修

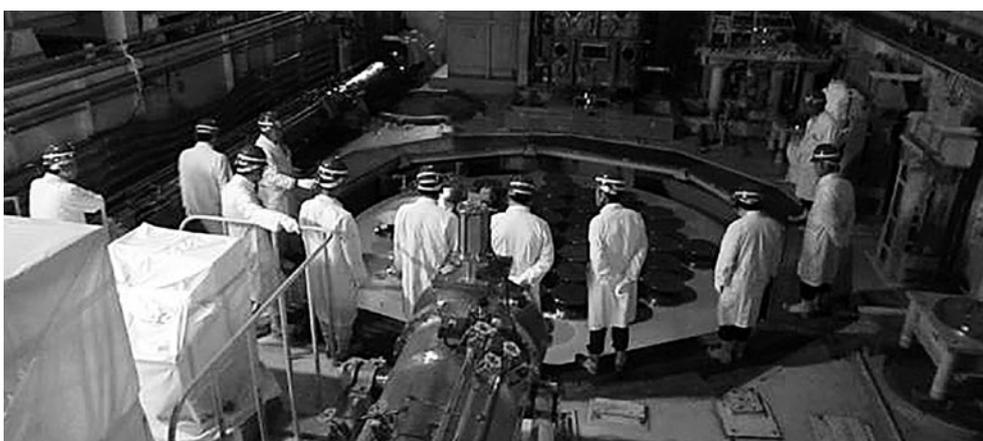
### 関西電力美浜発電所・原子炉廃止措置開発センター

5月17日、関西電力美浜発電所及び原子炉廃止措置研究センターを原子力発電所特別委員会全員で視察研修を行いました。

美浜発電所では、美浜3号機の新規制基準の概要、運転期間延長に係る申請について、地震対策、津波対策、内部火災対策、電源の確保、事故時対応能力の向上等の説明を受け、構内の3号機取水エリア及び32mの高台にある安全対策資機材を視察しました。

日本原子力研究開発機構の原子炉廃止措置開発センターでは、ふげんの廃止措置計画取り組み状況について説

明を受け、ふげんのタービン建屋及び原子炉建屋を視察しました。(藤本記)



原子炉廃炉措置研究開発センター(ふげん)視察

【議会全員協議会報告 5月18日】

## 大規模園芸ハウス

### 導入事業(案)にむけて

昨年策定された美浜町農業基本計画を実現するための「いきいき農業サポートプラン推進事業」に基づく事業で、水稻に頼りすぎない農業(複合型農業)を実現する事業の1環として計画され、この度その説明がありました。事業推進にあたっては、町(美浜町園芸サポーター)及び県(二州、園芸試験場)並びにJ A等が一体となり全面的にサポートする方針です。

平成29年度以降の運営支援策は、県補助事業の経営安定化支援事業(雇用支援策)等を中心に町として支援します。

園芸産出額の拡大と農業経営の安定を図るため、周年栽培で大規模な経営を行う自然光利用型連棟ハウスにより農業生産を拡大し、収益性の高い農業経営への転換を図るため、

園芸を導入することにより所得拡大を目指す支援事業です。

【事業予定地】興道寺・中寺地係

100a(ハウス部分は内60a)

【ハウス形態】冬型ハウス

(年間の運用期間8月上～6月下)

【ハウス規模】計4棟

3棟(111m×16m)+1棟

(81m×16m(管理棟区分含む))

【総事業費】

2億4千万円(補助対象事業費)

【対象作物】

中玉トマト(66000kg)他

【雇用体制】

施設長1人、臨時雇用6人

## 地方創生加速化交付金

### 1次募集に漏れる

国の同事業に「道の駅整備事業」「美浜のへしこ」ブランディング推進事業の2事業を応募していましたが1次募集に外れ、計画を練り直して2次募集に応募することになりました。

(兵庫記)

【議会全員協議会報告 6月20日】

平成28年6月20日全員協議会が行われ、以下の内容について行政側より説明を受けました。

## レイクヒルズ美方病院の

### 経営改善検討内容について

耳鼻咽喉科の常勤医師が着任してから着実に患者の増加が見られ、また、入院患者は1病棟86.7%、2病棟95%の稼働率で推移しています。さらに、平成28年10月から泌尿器科の常勤医師



레이크ヒルズ美方病院

を採用予定で進めています。

今後の協議として開設からの累積資金不足額8450万円の返済と医療政策の動向を勘案した場合、現状維持は困難であり、運用を見直す必要があります。

## 地方創生交付金について

今回2次募集として「ウエルカム美浜人プロジェクト」と「美し美浜『インバウンド』雇用創出プロジェクト」の内容で再度申請を行いました。

## コミュニティバスの運行状況について

新コミュニティバスは平成28年4月1日から本格運行を開始し、平成27年度延べ乗客数は18096人平成26年度までは20000人を超えていたことから今日までの反省を踏まえ、今後も改善を続け乗客数の向上につなげたいと思います。

## 水道ビジョンについて

平成28年3月に新・美浜町水道ビジョンを作成し今後10年間の水道事業のあり方を計画しました。現在の水道施設能力は1日平均5500<sup>3</sup>m<sup>3</sup>であり、10年後の1日平均給水量を3593<sup>3</sup>m<sup>3</sup>と見込んでいます。平成28年度から平成36年の間に東部、けやき台、菅浜へ上水道配水エリアを拡張する方向で進めています。

(竹仲記)

## 美浜町歴史文化館開館 及び 西郷健康ひろば屋内運動場落成式

### 美浜町歴史文化館

美浜町歴史文化館が4月15日に開館しました。歴史文化館は、旧せせらぎ保育園を改装し総工費約1億5000万円をかけ完成しました。施設面積が1060平方メートルあり、展示室、研修室、埋蔵文化財作業室などが設けられ、古墳時代の土器など考古資料や民具などが展示されています。地区公民館を併設し、町内外から多くの方が来館してもらえるよう、展示内容の充実と公民館活動の活性化に期待します。

### 西郷健康ひろば屋内運動場

西郷健康ひろば屋内運動場の落成式が4月16日に行われました。この施設は、多目的屋内運動場として整備され、ゲートボールではコート4面の広さがあります。総工費約4億7000万円、屋外のトイレについても、約500万円をかけ整備されました。現在、ゲートボールでは多くの人たちが利用しており、今後大きな大会の誘致を期待します。(野瀬記)

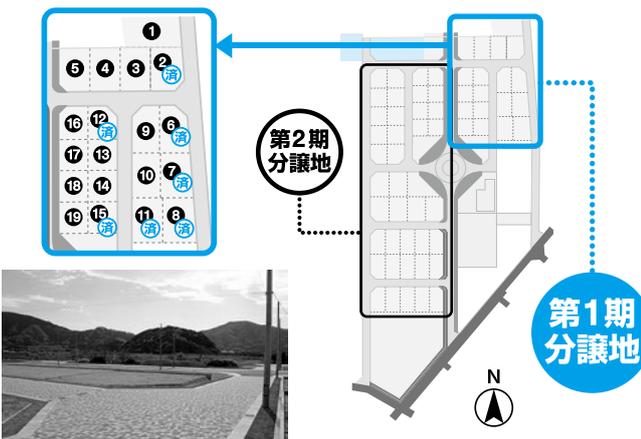


美浜町多目的屋内運動場落成式

## 美浜東「美し野」 ニュータウンについて

### 美浜町への定住と 移住の拠点として

山上住宅団地は、美浜東「美し野」ニュータウンとネーミングされ、今回19区画の第1期分譲が開始されました。新聞チラシや現地説明会も行われ、5月末で、町内3件、町外4件の計7件の契約があり、順調な滑り出しをしました。議会でも、今年度工事の第1、2、3工区(39区画)請負契約の説明が行われ、「快適で安全安心なまちづくり」の拠点として整備されます。(辻井記)



美浜東「美し野」ニュータウン区画図

## 臨時議会と視察

### 産業団地に アイケープラスト進出

美浜町議会臨時会とアイケープラストの現地視察が6月30日に行われました。

#### ◎土地の処分について

若狭美浜インター産業団地として整備した用地を株式会社アイケープラストに分譲することを審議し、賛成多数で可決しました。

また、産業団地整備にともなう町道路線の廃止と新たに認定が必要となった町道路線についての議案2件を審議し、全員賛成で可決しました。

### アイケープラスト

#### 敦賀工場を視察

臨時会終了後、アイケープラストの敦賀工場を視察しました。アイケープラストはプラスチック樹脂を使用し、機能性に優れた食品容器などをつくる工場です。ホコリや異物が混入しないようにクリーンルーム内で作業することで、衛生的に良い環境で仕事ができる

と思います。

また、工場内は自動化が進んでいるので、生産から出荷にいたるまで負担がかかるような力仕事は少なく、女性が働きやすい職場環境だと思いました。

雇用はアイケープラストの直接雇用で、派遣・請負社員はいません。企業側も技術力を高めるために長期間、安定して働いてもらいたいと言っています。モノづくりに誇りを持ち安定して働ける場所ができます。(河本記)



アイケープラスト敦賀工場視察

## 敦賀美方消防組合議会

### 慰霊の心、深々と

敦賀美方消防組合の恒例の消防大会が5月29日実施されました。敦賀市松原公園にある慰霊碑に献花をささげた後、笙の川での放水訓練、相生町での分列行進、最後はきらめきみなと館での消防職員、団員の永年勤続表彰等が実施されました。

(浜野記)

### 優勝は第4分団第4部

#### 久々子チーム

美浜消防団恒例の小型ポンプ操法大会が6月26日美浜消防署訓練広場で開催されました。日頃、仕事を終えた夕刻からの練習を積み重ねた結果を存分に発揮して、12団体全チーム共、甲乙つけがたい結果でしたが、団結力でまとめた久々子チームが見事優勝されました。(浜野記)



小型ポンプ操法大会



分列行進

## 知っ得議会シリーズ①

### 【議事堂】

議事堂と言えば、一般的にはテレビで見える国会議事堂や議場をイメージしませんか？

議事堂とは、議会活動に必要な場所全体のことをいいます。

美浜町役場内の議事堂は、庁舎3階にある議場や傍聴席、全員協議会室、委員会室、議会議事室、議員控室、図書室、正副議長室、議会議務局事務室などがあります。

議場とは、議員と理事者(町長、副町長、教育長その他幹部職員)が対面して本会議(全員が集まって話し合う場)を行う神聖な場所です。

本会議は公開することが原則であるため、どんな話し合いをしているかを町民の方が傍聴することができます。

傍聴席は、議員席の上段に報道席(9席)と一般席(25席)を設けており、希望される場合、先着順で受付した後、傍聴券の交付を受け入室していただくこととなります。

また、全員協議会室や委員会室・議会議事室は、提出された議案を個別に審議したり、研修会等を行う場所として使用しておりますし、議員控室、図書室、正副議長室、議会議務局事務室は個別の打合せや参考資料の閲覧及び事務従事スペースとして使用しています。

今回、紹介しました議事堂に興味のある方は、傍聴や見学にお越しく下さい。(事務局記)

選挙権が18歳以上からになりました。そこで議会のことを少しでも知っていただきたいと、今回からシリーズで掲載します。



# 美浜町小学校体育大会

## 西小学校

元気に3チーム141名の入場行進。毎回参列して思うが、ランドセルが歩いていた様な子が6年という歳月がたつと、堂々と後輩を引き連れての姿に感心する。自分たちもこの様に出来ていたのかと…。(山口記)



## 中央小学校

6月11日、「みんなの力を一つにしよう」のスローガンのもと美浜中央小学校体育大会が142名全員参加して盛大に開催されました。練習の成果を力強く発表してくれました。愛育会はじめ地域一体となり、素晴らしい大会でした。(藤本記)



## 東小学校

小学校再編二度目の美浜東小学校運動会が6月4日に開催され、元気よく力いっぱい競技する149名の児童達へ、保護者の皆さんと共に声援させて頂きました。(梅津記)



### 編集後記

6月定例会と臨時会が終わわり、いよいよ観光シーズンの夏です。今年のアユは大きく、耳川のアユ釣りも盛況なので、リピーターの口コミなど、町の見どころとして観光集客の増加につながってほしいと思います。海、山、湖も活気にぎわう季節になります。町の魅力を活かした観光産業から交流人口を定住化につなげられるような「美浜の夏」になることを期待しています。(河本記)

### 追悼

去る6月18日飯田豊議員が逝去されました。  
 飯田議員は、平成6年から6期22年にわたり美浜町議会議員として町の発展に尽くされました。6月定例会では、病魔と闘いながら、お亡くなりになる直前の総務文教常任委員会に出席され、その職責を見事に果たされました。最後まで、まさに真の議会人としてあり続けました。貴方の幾多のご功績は、必ずや永く後世に語り継がれるものと思います。  
 在りし日の面影を偲び、謹んで心からご冥福をお祈り申し上げます。(松田記)

### 美浜町議会 広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員   | 野瀬 雅己 |
| 副委員長 | 河本 健猛 |
| 委員   | 山本 健治 |
| 委員   | 山口 和治 |
| 委員   | 兵衛 賢一 |
| 委員   | 竹内 良廣 |
| 委員   | 辻健一郎  |